



女性農業士が食育教育 矢板高校で手作り紙芝居を披露

3月17日矢板高校で、2年生を対象に地産地消や地域の農業への理解促進を目的とした女性農業士による食育紙芝居が行われました。当日は「酪農」「お米」「イチゴ」をテーマに、イラスト・文を全て手作りで作った3つの紙芝居のほかクイズを披露しました。女性農業士の室井さんは、「3年生ではそれぞれの専攻で知識を深め、これからの時代に向けた問題提起や解決策などを考えてほしい。農業の担い手としての道を応援している」と話しました。



県内初の連携協定 コンポストイレで、災害時の暮らしをサポート

3月19日市役所で、(株)キガ様との災害時における生活物資等の調達及び供給に関する協定締結式が行われました。これは、使用後は土に埋めることで分解され、最終的に堆肥になるという特長を持つ携帯トイレ「コンポストイレ」などを供給いただき、被災者の安心安全な日常生活を守ることを目的に連携するものです。共同開発した宇都宮大学 木村名誉教授は「長年、実用性を何度も検証した自信作。たくさん活用してもらいたい」と話しました。



▲(左から)印南副市長、森島市長、(株)キガ 森野専務取締役、宇都宮大学 木村名誉教授

矢板市の野球キッズを応援 栃木ゴールデンブレーブスより寄附

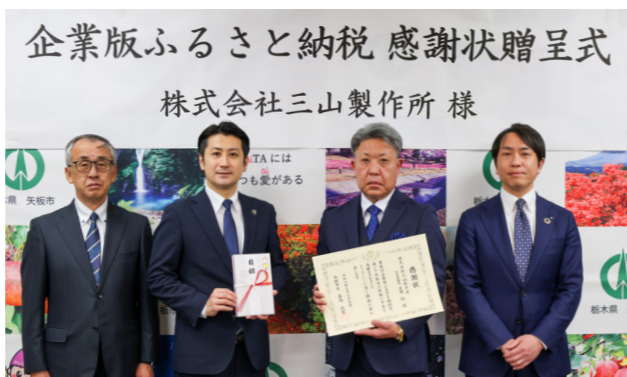
3月25日市役所で、(株)県民球団様からの寄附贈呈式・2026年シーズン開幕報告会が行われました。これは、大進電気グラウンド(運動公園多目的グラウンド)が銅線ケーブルの盗難被害に遭い、ナイター照明を使った野球教室などが開催できなくなっている状況を受け、申し出をいただき実現したものです。坂巻部長は「微力ながらお力になればうれしい。またこのグラウンドで行うリーグ戦でも、地域の方に元気や勇気を与えられるような試合をしたい」と話しました。



▲(左から)栃木ゴールデンブレーブス 平山 大智選手(矢板市出身)、森島市長

未来を担う子どもたちへ (株)三山製作所 企業版ふるさと納税で寄附

3月25日市役所で、企業版ふるさと納税感謝状贈呈式が行われました。今回の寄附は、(株)足利銀行が提供する「あしぎんマッチング事業」により寄附企業の紹介を受け実現したものです。市内学校の配電盤設置に携わってきたご縁から、200万円の寄附をいただいた(株)三山製作所の大淵代表取締役は、「物価高騰の影響もあり、子どもを産み育てるにはこれまで以上に費用がかかる。子育て支援など多世代のために役立ててほしい」と話しました。



▲(左から)印南副市長、森島市長、(株)三山製作所 大淵代表取締役、(株)足利銀行 土屋伊勢崎支店長



市では、27年ぶり2例目 消防団活動協力で、渡辺工務店に知事感謝状

3月25日市役所で、消防団活動に積極的に協力している事業所として知事から感謝状贈呈を受けた(株)渡辺工務店 渡辺代表取締役が、市長を表敬訪問しました。これは、同店が美化活動や学生の職場体験受け入れなど多方面で市の発展に寄与するほか、消防団活動には、長年にわたり設備や資材の寄附を行ってきたことが評価されたものです。渡辺さんは「地域を守ることも建設業の役目。引き続き継続していきたい」と話しました。



▲(左から)印南副市長、(株)渡辺工務店 渡辺代表取締役、森島市長

食と農の大切さを学ぶ JA しおのやが教材などを寄贈

4月7日教育委員会で、市内小学生への寄附贈呈式が行われました。これはJA しおのや様による社会貢献活動の一環で、次代を担う子どもたちが、食と農業への理解を深めることができるように、ランチョンマットを小学1年生に、副教材「とちぎの農業」を3年生に寄贈するものです。荒井組合長は「今後も子どもたちが地場産物への関心を持ち続けられるよう継続していきたい」と話しました。



▲(左から)JA しおのや 荒井組合長、伊藤教育長、渡邊専務

生涯学習フェス実行委員が企画・立案 “かわいいを学ぶ”メイクアップ教室開催

3月26日矢板東高校で、東色ピグメント(株)のご協力のもと、プロのメイクアップアーティスト山本 隆太さんを講師に迎え、メイクアップ教室が開催されました。これは、生涯学習フェス実行委員が中心となり開催したもので、当日は、リクエストの多かったアイメイクについて講義とデモンストレーションが行われました。参加した生徒は「初めて涙袋を描いた。もっと上手にできるようになりたい」「メイクっておもしろい。いっぱい練習したい」と話しました。



詳しくはこちら